

経営協議会議事録
(平成29年度第4回)

平成29年11月20日(月)
13時30分から15時50分まで
農学部会議室

出席者

議長	小山清人				
委員	井上弓子	佐藤秀之	里見進	里村正治	ストロナク・ブルース
	中野光雄				
	安田弘法	久保田功	阿部宏慈	小島浩孝	根本建二
監事	渡辺均	竹内千春			

欠席者

委員	相澤益男	吉村美栄子
	大場好弘	

議長から、本学経営協議会規程第6条第2項の会議開催要件を満たしている旨の報告があった。

1 経営協議会議事録(9月15日開催)の確認

議長から、前回9月15日開催の本会の議事録(案)について確認があり、議事録が了承された。

2 【報告】学生の事故に係る総合対策本部について

小山学長から、議題に関して、現在までの対応状況及び今後の取組みについて、報告があった。

本件に関して、主な意見等は以下のとおり。

- ・ 学生生活チェックシートの結果から、ケアが必要な学生を発見した時のフォローの仕組みについて確認があり、何段階かに分けた対応を検討している旨、説明があった。
- ・ 教員が学生の行動に注視し、異変に気付くことが必要ではないか。
- ・ 学生の異変に気付いたらすぐに情報を伝達する内部通報制度のようなシステムの提案があり、相談員から学部長等に情報を伝達する仕組みを実施することとした旨、説明があった。
- ・ メディアへの対応策も必要ではないか。
- ・ 各事案に潜む要因を分けて考えないと解決できない問題が多いのではないか。
- ・ 学生が学外に相談する仕組みがあるかの確認があり、学生証に学外の相談窓口を記載したシールを貼るなどして対応している旨、説明があった。

3 【報告】 x E V 飯豊研究センターに係る事案への対応について

小山学長から、議題に関して、これまでの経緯及び今後の対応について、報告があった。

本件に関して、主な意見等は以下のとおり。

- ・事案ごとの対策で終えるのではなく、長期的な解決のために、問題に対するオーソドックスな対策を別途作り上げることが必要ではないか。
- ・一人一人の仕事内容を整理し、契約更改時に次年度も含めて説明することは人事管理コストの増加に繋がるが、経営の観点から、必要なコストとして判断するか決めていく必要があるのではないか。
- ・経営陣が現場を把握することが大事であり、外部からの情報で問題が発覚することがないよう対策を講じる必要があるのではないか。
- ・大学執行部と職員組合の関係を見直し、長期的に改善していく方策を打ち出す等の取組みが必要ではないか。

4 【協議】平成30年度山形大学予算編成方針（案）について

小島理事から、議題に関して、基本方針、各会計区分別方針について、提案があった。

次いで、議長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

5 【協議】余裕資金の運用に係る認定申請について

小島理事から、文部科学省からの通知に伴い、現行の資金運用対象の拡大を図るため、認定の申請を行うものである旨、説明があった。

次いで、議長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な意見等は以下のとおり。

- ・運用する社債を選ぶ際に、社債の格付けのみで決めることなく、業種や他企業との競争条件、海外への投資状況等を考慮し、慎重に検討するのが良いのではないか。

6 【協議】有期雇用契約職員の無期転換に伴う関係規則の整備について

阿部理事から、議題に関して、改正の要点について、説明があった。

次いで、議長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な意見等は、以下のとおり。

- ・仕事内容は時代と共に変化していくのに、同一内容の仕事を複数年、従事させるという考え方を考える必要があるのではないか。
- ・無期転換では、仕事内容が変化しないことを前提としているが、最終成果を徐々に高めることによって終身雇用を保障する仕組みを入れるべきではないか
- ・雇用更新を行う職員へは、毎年毎年、その人に応じて挑戦可能な成果目標を設定し、高い成果が出るようにマネジメントすることが必要ではないか。
- ・将来的に、同一労働同一賃金法が、成立すると思うが、全員の賃金が上がるということをも前提に対策を立てる必要があるのではないか。
- ・無期転換後、その方々が活躍できる方策を考え、好循環を促す経営が必要ではないか。
- ・この機会に、仕事の見直しと業務の適正人数を整理すると良いのではないか。

7 【協議】副学長の配置について

小山学長から、議題に関して、説明があった。

次いで、議長から、本件に関して諮られた結果、原案どおり了承された。

8 【協議】大学部局の見直しに伴う関係規則の整備について

阿部理事から、議題に関して、所要の改正を行う旨、説明があった。

次いで、議長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

9 【協議】副学長を置くことに伴う関係規則の整備について

阿部理事から、議題に関して、所要の改正を行う旨、説明があった。

次いで、議長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

10 【協議】「教員の個人評価」の見直しについて

久保田理事から、議題に関して、平成27年度の学術研究院の創設及び平成28年度のキャンパス制の導入を踏まえ、所定の見直しを実施するものである旨、説明があった。

次いで、議長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な意見等は以下のとおり。

- ・教員の評価を行う目的が何かというところに立ち返る必要があるのではないか。
- ・自己評価は、教員ごとに基準が異なるため、評価に基づくコミュニケーションの仕組みが必要ではないか。
- ・客観的に評価する方法として、教員一人に対し、異なる方法で選出した3～4人で評価する方法を検討してはどうか。

11 【報告】研究組織の体制整備について

久保田理事から、議題に関して、本学の攻めとしての研究組織の支援・育成のあり方及び守りとしての研究組織の基盤形成について、報告があった。

12 【報告】平成29年度財務状況について（上半期分）

小島理事から、運営資金の執行状況、外部資金の受入状況及び資金残高推移状況等について、報告があった。

13 【報告】就職内定状況（10月31日現在）について

安田理事から、議題に関して、報告があった。

14 【報告】平成30年度山形大学推薦入試・社会人入試・A0入試等の志願状況について

安田理事から、議題に関して、報告があった。

本件に関して、主な意見は以下のとおり。

- ・他学部と比較すると、工学部の募集は分類が細かく感じるので、広く募集をかけ、学ぶ中で希望する分野に進むような仕組みが良いのではないか。

15 【その他】国の動向について

小山学長から、議題に関して、文部科学省では、国立大学法人が複数の大学を運営できるよう制度を見直し、大学経営の効率化を進める方針を固めた旨、説明があった。

16 その他

特になし

今回は、平成30年1月22日(月)に開催することとなった。